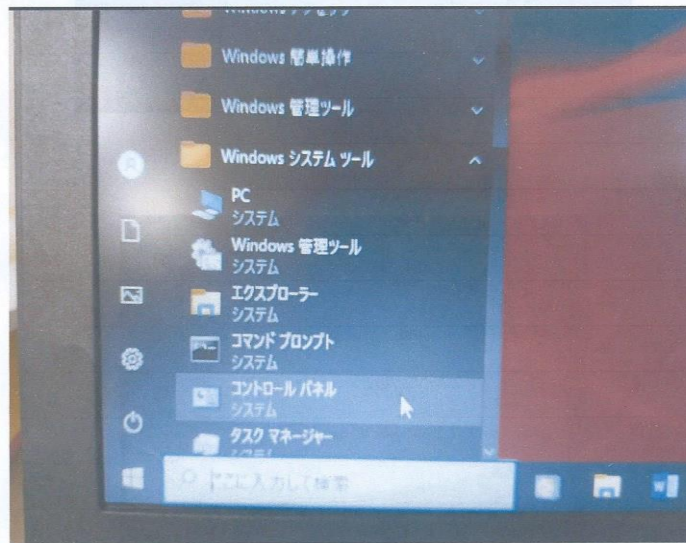


令和6年7月11日
ICTワーキングチーム

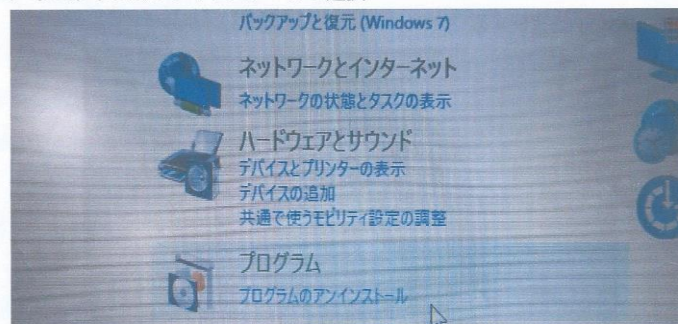
office2016
講習用PCセッティング手順書

1. 旧パソコンでの作業 **インターネット接続は不要**

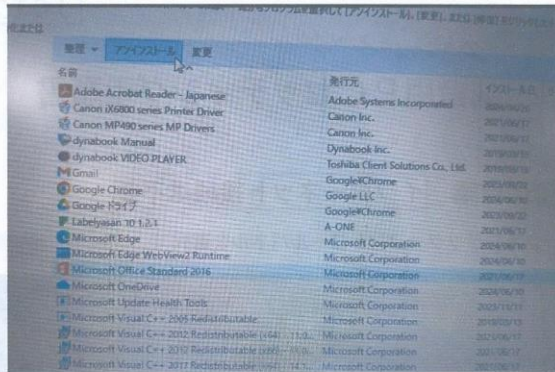
①Windowsマークをクリック→コントロールパネルを選択



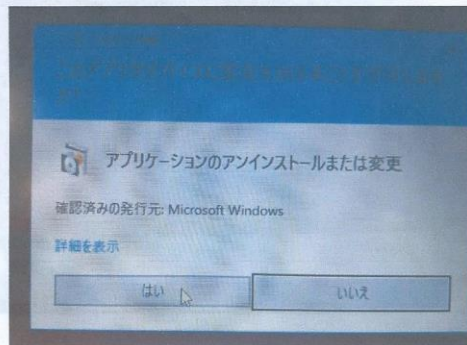
②プログラム→プログラムのアンインストールを選択



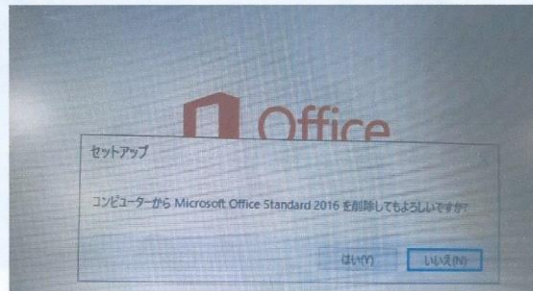
③Microsoft OFFICE Standard 2016を選択



④以下の画面が表示されたときは「はい」を選択



⑤以下の画面でも「はい」を選択する



【留意事項】

- ・上記①～⑤までの作業は、複数台を同時に実施しても問題はない。
- ・上記の作業と合わせて、以下の事項について留意すること。
 - a ドキュメントやデスクトップなどに公民館や利用者個人が作成したデータを存知されている場合は削除する事
 - b メールアカウントの設定（=電子メールの送受信が可能になっている）を行っている場合はアカウントを削除しておくこと。

【削除方法参考ページ】 <https://x.gd/AeRWo>

2. 新パソコンでの作業 **インターネット接続を要する**

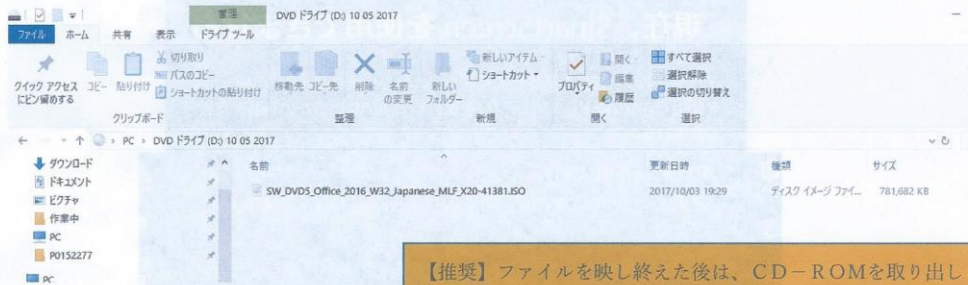
【事前作業】

- ・新パソコンをWi-Fi接続可能（=インターネット接続が可能）な状態にすること。

【Wi-Fi接続方法参考ページ】 <https://x.gd/cfr4M>

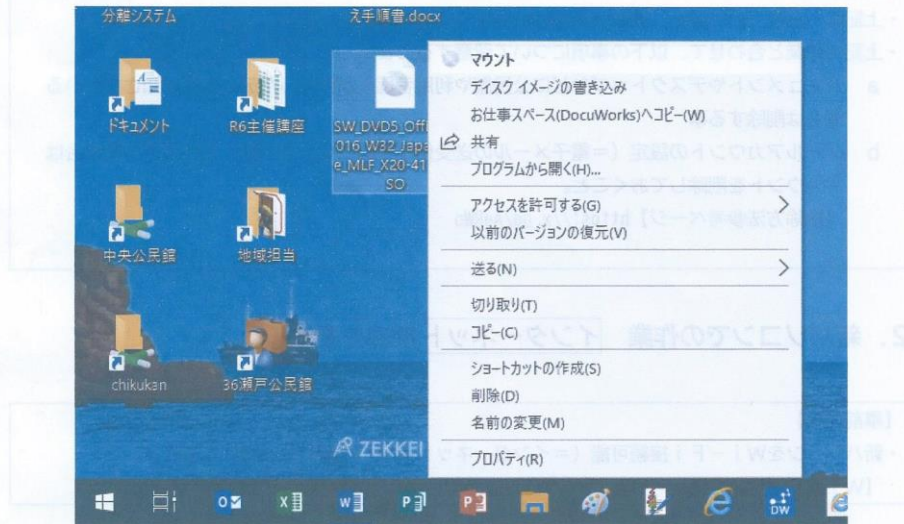
①各館で所持している「Microsoft Office Standard 2016」インストールCDとプロダクトキーを準備する。

②CDを挿入し、中に入っている以下のファイルをデスクトップにコピーする。



【推奨】 ファイルを映し終えた後は、CD-ROMを取り出し別のPCへ移動してセッティングすることが可能です

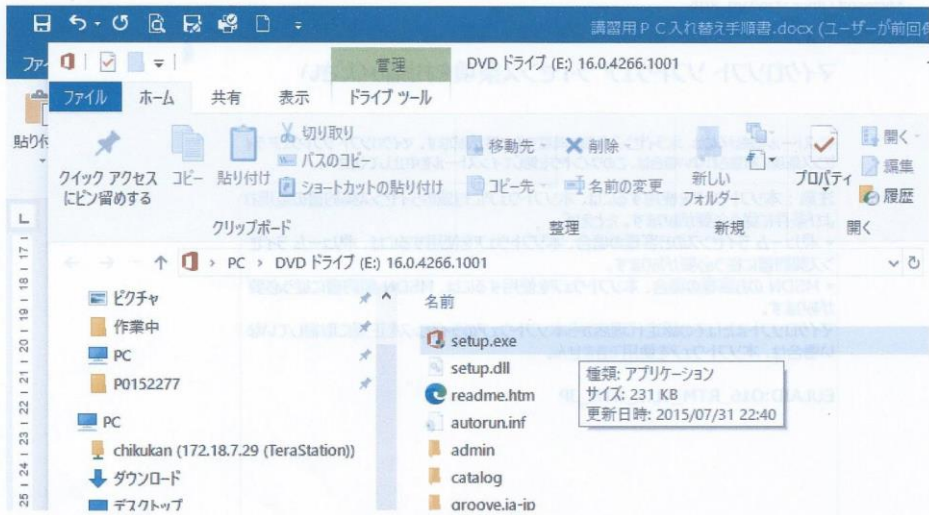
③コピーしたファイルを左クリックし「マウント」を選択



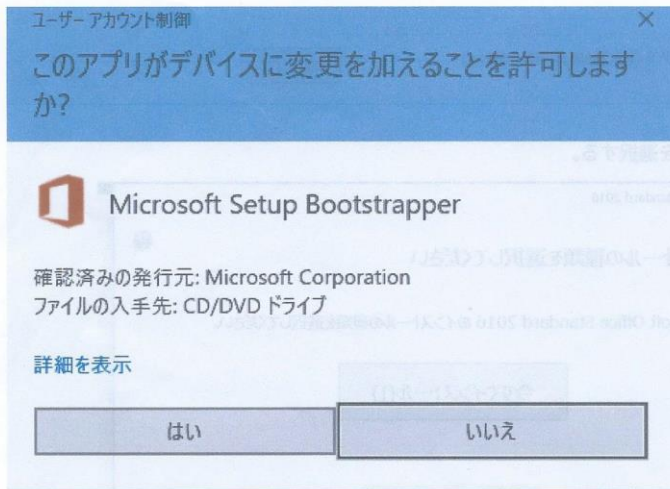
④もし、以下の表示が出た場合は「実行」を選択すること。



⑤新しいウィンドウが開くので、一覧の中から「Setup.exe」をダブルクリックする。



⑥以下の表示が出た場合は「はい」を選択。



⑦以下の画面では「同意」にチェックを入れ、「続行」をクリックする。

Microsoft Office Standard 2016

マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項をお読みください

インストールを続けるには、本ライセンス条項に同意する必要があります。マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項に同意されない場合は、このウィンドウを閉じてインストールを中止してください。

注意：本ソフトウェアを使用するには、本ソフトウェアに付属のライセンス契約書の条項および条件に従う必要があります。たとえば、

- ボリューム ライセンスのお客様の場合、本ソフトウェアを使用するには、ボリューム ライセンス契約書に従う必要があります。
- MSDN のお客様の場合、本ソフトウェアを使用するには、MSDN 契約書に従う必要があります。

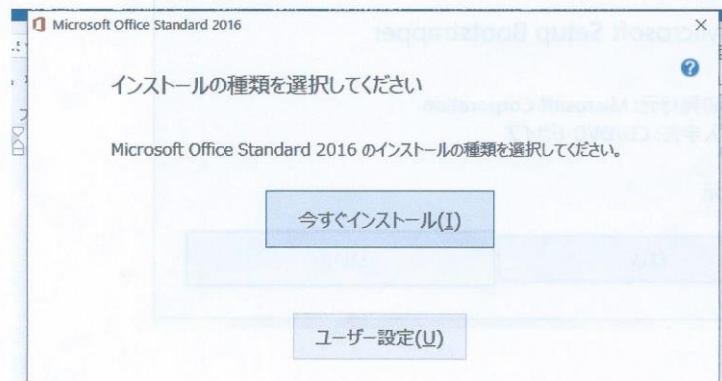
マイクロソフトまたはその認定代理店から本ソフトウェアのライセンスを正規に取得していない場合は、本ソフトウェアを使用できません。

EULAID:O16_RTM_VL.1_RTM_JP

「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」に同意します(A)

続行(C)

⑧ 「今すぐインストール」を選択する。



⑨インストールが終わるまで少し待つ。最後の画面の「オンライン登録」はしなくてよい。

- ⑩続けて、インストール済のOffice 2016をスタートさせ、新規文書を開きます。
⑪ファイル→アカウントの順にクリックします。
⑫以下の画面の「プロダクトキーの変更」をクリックします。

製品情報



ライセンス認証が必要です
Microsoft Office Professional Plus 2016
この製品には以下が含まれます。



プロダクト キーの変更

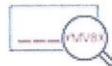
Word のバージョン情報
Word、サポート、プロダクト ID、著作権に関する詳細情報。

Word のバージョン情報

- ⑬以下の入力画面に「 (半角英数字) を入力します。



プロダクト キーを入力します



Office 365 には Office 2016 のプロダクト キーを入力し

⑭以下の画面にもどったら、認証作業は終了しているので、ワードを終了してもよい。



⑮念のため、再度ワードを起動してみること。

もし、認証ができていなければ、認証を推奨するメッセージが出ることもある、
その場合は、本紙の手順「2. 新パソコンでの作業」⑩からの作業を再度行うこと。